

「今月の1枚」



写真 1

春真っ盛り。草地ではサクラより早く花を咲かせる植物がいます。

アマナはユリ科の多年草で、毎年白い花を咲かせます。名前の由来は、葉や鱗茎に甘みがあるからで、属名 (Amana)にも使われています。

また、種小名"edulis"は「食べられる」という意味です。

四国支所では、毎年3回ほど下刈りをしているため明るい環境が保たれ、アマナのような草原性の植物が維持されています。



写真 2

曇りの日や朝晩は、花弁を閉じています。

日が当たって、花粉を媒介する虫が活動する時間帯だけに、花を開くようにしているのでしょう。



写真 3

草地にあるアマナの群落。年々、円状に広がっている。

アマナ（ユリ科） *Amana edulis*

(写真・文：酒井 敦 2015年3月22日四国支所構内にて撮影)

(No.253 2015.3.23 掲載)